

感染状況・医療提供体制の分析(11月1日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月~日)の合計	前回の数値 (10月25日公表) 10月14日~10月20日	現在の数値 (11月1日公表) 10月21日~10月27日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	164人	137人	→	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 定点当たり患者報告数は1.63人と減少も、県北でやや増加傾向。A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎高止まり。更に、全国的にも岡山県でもマイコプラズマ肺炎が流行している。全国的に見るとやや増加傾向に振れ始めている。高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 入院患者数は緩やかな増加。 ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		定点当たり数	1.95人	1.63人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	36.0%	38.7%	→	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	0.59人	0.41人	→	
		倉敷市保健所	3.56人	1.56人	→	
		備前保健所	2.53人	2.07人	→	
		備中保健所	1.50人	1.33人	→	
		備北保健所	1.50人	1.00人	→	
		真庭保健所	1.33人	3.33人	→	
		美作保健所	2.50人	4.00人	→	
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	10人	18人	→		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	0人	0人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。